

清水地区タウンミーティング

平成24年4月27日（金曜）

【市長】 皆様こんばんは、今日は平日の夜間であります。仕事があった方、お疲れの方もいらっしゃると思うんですけど、こんなに多数の方がお集まりをいただきまして本当にありがとうございます。清水地区広報委員会の松原会長さん、そして清水公民館の倉田館長さん、また地域の役員の皆様方のご協力あってこのタウンミーティングは開催できております。このタウンミーティングですけど、松山市は41の地区に分かれます。地区ごとに公民館の本館が置かれてありますが、おおむねこの公民館の本館ごとに行っております。私が就任をさせていただいてから始めました。1年5カ月というところになりますけども、これは職員には、一つ手間のかかる話です。と言いますのが、市役所で皆さんが来られるのを待ってるほうが楽ですよ。それでいいんだろうか、私たちが出ていくことが必要ではないかと感じまして、就任してからこのタウンミーティング、私たちが皆様の声を聞きに行こうということ始めております。そしてもう一つ、このタウンミーティングは、開催して皆さんからのご意見を聞いたようなふりをすればある意味楽なんです。こういうのをガス抜きと言いますが、それはいたしません。やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないのが松山版のタウンミーティングの特徴です。具体的には、ここで答えできることはお答えします。でも、例えば財政的な問題があるもの、国と絡むもの、県と絡むもの、こういう即座にお答えできないものもございます。そういったものはいったん持ち帰らせていただいて、国に問い合わせをする、県に問い合わせをする、その答えが戻ってくる、そして松山市としての方針を決めるということですので、1カ月がめどになってしまうんですけど、1カ月をめどに必ず地区にお答えを返すようになっておりますので、やりっぱなしにはしない、聞きっぱなしにはしないというのが、この松山版のタウンミーティングの特徴でございます。言ったら二手間かけてると言えようかと思えます。さて、こちらにも書いてありますように、このタウンミーティングはいつも、まず地区の魅力について皆さんに語っていただきます。話をさせていただきますけども、これはなぜか。その地域の魅力を一番知っているのはだれでしょうか。市役所にいる私たちでしょうか、そうではないで

すよね。ここにお住まいの地元の皆さんが、その地区の魅力については一番知ってるはずですよ。その魅力を活かしたまちづくりができれば、それぞれの地区はより輝くことができます。そして、そういう地区が41集まれば、その集合体である松山市はより輝くということになります。これを、行政が主体になって押しつけてしまったら、どこを切っても同じような金太郎あめのような地区が41できてしまいます。その集合体の松山市はおもしろくないですよ、輝くわけがありませんので、それぞれの地区に住む皆さんに魅力について語っていただきます。そしてその魅力を活かしたまちづくりをしていく第一歩にしていきたいと思えます。そしてテーマ2、テーマ3とありますけども、当然、問題点、課題点があると思えますので、それについて教えていただくのがテーマ2、3になっておりますけれども、あまり固く考えなくて結構でございます。90分という時間ですので、あんまり肩ひじ張っていると疲れてしまいますので、このあたりはざっくばらんにお願ひできたらと思えます。さて、私でお答えできるものはもちろん私でお答えをするんですけども、松山市の仕事というと本当に広い範囲に及びます。清水小学校があります、小学校中学校、公立学校の仕事も松山市の仕事、また図書館も持ってます、競輪場も持ってます、坊っちゃんスタジアムも持ってます、上下水道もあります。本当に松山市の仕事って幅が広いんですけども、それぞれの担当の部長、企画官、課長たちを連れてきております。企画官というのはわかりやすく言うと副部長という名前になろうかと思えますけども、企画をどんどん立てるという意味を込めて企画官という言い方を松山市ではしております。それでは各担当の部長、企画官、課長たち、それぞれ自己紹介をいたします。

【市民部長】 皆さんこんばんは、市民部長の三好と申します。このタウンミーティングの統括をやっております。普段の仕事としましては、市民サービスの提供、窓口サービスの提供で、市民課、22支所7出張所、パスポートセンターとか消費生活センター、窓口におけるサービス。それと地域におけるまちづくり、男女共同参画、人権啓発、こういった業務をやっております。

【社会福祉担当部長】 皆様こんばんは。保健福祉全般を担当しております社会福祉担当部長の大濱でございます。

【環境政策課長】 こんばんは、環境部企画官兼環境政策課長の大野と申します。環境部ではごみの問題とか地球温暖化対策、それから川や海、大気的环境保全と

いった仕事をしております。

【都市政策課長】 皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備部では道路、公園などの整備及び維持管理を行っております。

【生涯学習政策課長】 皆さんこんばんは、教育委員会事務局の生涯学習政策課長の前田と申します。教育委員会全般の業務を扱っておりますので、今日は皆さんのお声をお聞きしたいと思います。

【消防局企画官】 皆さんこんばんは、消防局企画官の岡本でございます。消防局で消防関係、火災救急救助、そして自主防災組織などを担当しております。

【市長】 という私と6人でございます。さっそく清水地区の魅力に入っていきますけども、もうご存知の方も多いと思います、私は松山市立清水小学校の入学、卒業で、もうよいよの地元です。その前を歩きながら、登校していた人間で、12歳、小学校卒業まで住んでいたのは松山市萱町6丁目でした。今は、別の建物が建ってますけども、もうきっすいの清水小学校の卒業、入学です。また不思議なことに前の私の職場も以前はそこにありましたので、本当に清水はつながりが深いなと思っております。中学校は、親父が県職員、林業の技術屋だったんで、ちょうど勝中に行くってときに、伊予三島に転勤が決まりまして、中学校は伊予三島で過ごした。同級生たちと一緒に中学校行きたかったんですけども、できなくて寂しかったですけども、そのようなことで。あんまり私がしゃべりすぎると皆さんが手を挙げて言うことができなくなってはいけませんので、本当に清水はいい場所だと思いますので、皆さんと一緒に魅力についてまずは語っていきたいと思います。

【男性】 こんばんは、本日はよろしくお願い申し上げます。城北界限はええとこぞなもし、その城北界限の一角にある清水地域、人口が26,600人、世帯数が約15,300になっております。これ多い少ないちょっと比較しにくいんですけど、今現在、松山市の人口が約516,000。41公民館になっております。その41公民館の中で、26,600人の人口は上から数えて4番目の人口の多い地域となっております。その地域の魅力について、2点ほど私から述べさせていただきます。まず第1点目が、清水地域は小学校から大学までバランスよく配置された文京の地区です。清水小学校と姫山小学校。それと中学校が勝山中学校、北高、高校が1校、それと松山大学、愛媛大学という、大学が2校あり

ます。この大学2校の関係上、若者の多い非常に元気なまちとなっております。これまた後から出てくるとは思いますけど、一概に学生さんが悪いとは申しませんけど、この大学界隈の町内会はごみ出し処理の問題で非常に苦労されておるとい問題があります。これが第1点目です。第2点目は、清水地域は非常に文化財、史跡、旧跡、お寺さんが多い文化のまちとなっております。日露戦争で捕虜になり亡くなったロシア兵が眠っているロシア人墓地、放浪の俳人種田山頭火が終盤過ごした一草庵など、数えきれないほど文化財の豊富な地域です。その文化財をこまめにすべて紹介していただいておりますのが、この「ええとこぞなもし」シリーズで、この「ええとこぞなもし」シリーズは山野先生が出版されとんですけど、この山野先生というのは、勝山中学の校長先生もされ、今現在も姫原に住んでらっしゃる地元の人であります。この先生が、一番最新版で2月に「伊予節紀行は楽しいぞなもし」という本を出しております。この中ででも、十六日桜、あの伊予節に出てくる十六日桜、紫井戸、片目鮒かためぶなが紹介されております。私が何でもこの本を持っているかといいますと、市長が序文を載せております。それでわざわざ持ってまいりました。ということで、市長が、もぎたてで食べ歩きはもう卒業しました、今のは書いてないんですよ、今度は書いとる言います、今度は文化財でまち歩きがしたいですよと書いております。ぜひ一番に、清水地域のまち歩きをしてください。よろしく願いいたします。最後になりますけど、清水地域は地域、学校、PTAが一体となり安全で安心なまちづくりを推進しております。ほんまに清水地域はええとこぞなもし、終わります。

【市長】 今日できるだけ皆さんの顔を見ながらお話できればと思いますので私は立ってさせていただきます。職員たちは手元に細かい数字がありますので座ってになるかと思いますが、もう清水の魅力については語り始めたら尽きないくらいありますので、私から補足をさせていただきます。さっきウイットを含めて言われたんですけども、私の前の仕事は食べ物はどうしても注目されることが多かったんですけども、がんばっている人、いいものをご紹介してきた番組だったと思っております。その一つの表れが食べ物だと思うんですけど、そういうプラス思考の番組をしてきた。各地を行了きましたけども、やっぱり教育施設というのはまちの中心なんです。その教育施設がなくなって、火が消えたようになったまちをいくつか見てまいりました。ですからこういった教育施設があるっていうこ

とは若者が集うということです、そして大学なんか特にシンクタンクという言い方します、いろんな研究の拠点ですから広がりがあります。皆さんに新たに「これなるほどな」と思っていたきたいのが、どこの都市も、大学って欲しいんですよ。愛媛は20の市と町がありますけども、松山以外考えてみてください、大学ほかにありますか。宇和島に愛媛女子短大さんあります、以前は新居浜にも桃山短大ってありましたけども今はなくなりました。今治だったかな、獣医師系の大学が欲しいとか、皆さん大学って欲しいんですよ。そういった中で松山は四つあります。愛媛大学、松山大学、東雲大学、聖カタリナ大学、四つもある都市というのは、恵まれてると思います。そして松山には専門学校が20もある。こういう教育機関があるというのは、すばらしいことだと思います。大学、高校、中学校、小学校もある。そして公共施設もいっぱいあります。若草に会館もあります、山越に行ったら県の、以前は整肢療護園といった言い方でしたけど、公共施設もある。そして日本赤十字病院を代表とした病院もある。日本赤十字病院は、あそこで改築といった方向性が出ましたけども、方向性が出るまではそれこそ北条のほうから北条に欲しいんです、松前の人から松前に欲しいんです、伊予市に欲しいんです、各地から声がありましたので、そりゃ大きい病院があると安心ですよ。少子高齢の時代ですから、大きな病院があるのもありがたいこと。文化財、私も大好きですけども、大川沿いの風景、こないだ桜散りましたけども桜並木なんかすばらしいですよ。水がきれいです、街中ですけど、ですから清水っていう土地の名前がついたんです。水がきれいですからおいしい酒ができます、だから横は味酒地区なんです。これ勉強しました、間違いじゃないです。水がきれい、文化財があるっていうのがすばらしいところ。最後にロシア人墓地をやったり地元の子どもたちがずっと守っている、お子さんたちを中心とした地区の方たちが守っているというのも素晴らしいことだと思います。清水は本当に地域資源に恵まれている、俳句の道もあります、平和通俳句いっぱいあります、これもすばらしいところだと思います。もう清水は地域資源がたっぷりある、これを活かしたまちづくりをしていくことが大事だと思いますので、これを皆さんとの共通認識にしたいと思います。

【男性】 今もごみのことでいろいろ言われよりでしたが、清掃課はかなり苦勞されております。清掃課の方は本当によくやっていただいて、協力していただい

て本当にありがとうございます。ただ皆さんご存知のとおり、ごみのカレンダーが配布されてますが、年寄りからご意見がかなりありました。というのが、皆さんご存知のとおりごみのカレンダーが去年のと今年のでちょっと字が小さいんですね。それで「ごみ今日はなんじゃったろか」ということでいちいち眼鏡をかけて見んといかん。字が大きくなるんは結構ですけど、ごみのカレンダーにつきましては字が小さくなってしまいましたので、ちょっと気をつけて、「何とか清掃課の方に言うてもらったらええんじゃが」と2, 3人聞いております。そういうことで協力してもらえたらと思います。大きくなった字はかまんのですが、小さくなるのはシルバーの人には苦勞しておりますのでよろしくお願いします。

【市長】 松山市には「市長へのわがまちメール」という制度がありまして、ちょうどこの間も、「市長、ごみカレンダーの字がちょっと小さなつとんじゃが」というご意見がありました。で、お答えしたんですが、いろんな情報を入れないかんで、今年ちょっと字が小さくなってしまったんです。確かに言われるとおり高齢者が増えていく時代ですから、来年度のものからは、またご意見を踏まえたものにしていこうと思います。ごみのことについては大野課長。

【環境政策課長】 今おっしゃられたことよくわかりましたので、清掃課とよく研究して、ご回答させていただけたらと思います。私もこの4月から参りまして、ごみのカレンダーの去年の大きさがわからないんですけど、私も老眼が始まって、ちょっと見にくいなというところもありますので、改正するところはちゃんと改正して、やっていきたいと思いますのでご理解賜りたいと思います。

【男性】 例年、3月、4月になりますと、分別していないごみがいっぱいあふれるわけですね。うちの役員さんとか班長さんとかが交代でやってくれよるわけですけど、もうその限界を乗り越すというか、それでどうも分別、ごみの出し方を知らん人がやると思うんで、3月、4月いうたら学生さんとかが入ってきてやるんじゃろうと思うんですけど、そういう管理をしよる管理会社、そういうところに市から指導がしてもらえんじゃろかという希望です。

【市長】 この学生さんの3月、4月のところは、私たちも本当問題としてしっかり認識をしています。これまで松山市が学生さんたちに対してどういう働きかけをしているのかを、大野課長から。

【環境政策課長】 学生、新入生に対しては、ごみの分別についての説明会を各

学校に行ってやっております。それから不動産業者とか大家さん、そういった方々も対象に、ごみをちゃんと分別して出してくださるようお願いしている状況です。特に入ってきたときもそうなんですけど、ごみをそのままにして出していかれる学生さんもいるということを知りましたので、今度大学に参りまして、生協とかにちょうどごみを出す時期、1月、2月、3月にも、ごみの出し方を啓発していける方向をこれから取らしていただけるようにしたいということで今話し合っております。ぜひそういったことで考えてまいりたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

【市長】 これからも引き続き、ルールにのっとってちゃんと出してもらえるように働きかけを一層していこうと思います。で、これ皆さんに胸を張っていただきたいデータがあるんですけど、松山市の一日一人当たりのごみ排出量、これ少なければ少ないほどリサイクル型のまちづくりができていくということになるんですけど、松山は52万人ですから、50万人以上の都市っていうくくりになりますけど、日本で最少です。これを5年連続で記録しています。これは市民の皆さんのご協力のおかげでできている数字なんで、日本一だというのは胸を張っていただきたい。我々もできるだけリサイクル型のまちづくりをしていきたいと思っております、ルールを守って出してくださいっていうのは学生さんたちに対しても思っています。これは今、広島市さんが追い上げてきておりますので、来年どうかないうところですけど、全国の中では本当にリサイクル型のまちづくりができてるようなんで、これからも皆さんご協力よろしくお願ひします。うまくペットボトルのリサイクルもできるようになると、資源にすることができずから、地球に優しいということも言えると思っておりますので、ご協力の程よろしくお願ひします。

【男性】 公民館で図書のお世話をさせていただいてます。端的に言いますと、図書を購入する費用を少しでも多く配分していただければと願っているわけです。と言いますのは、この公民館では今のところ4回、小さい子どもを対象にしたお話をやっております。そのときにだんだんと参加者が増えてきておりましてうれしい傾向があるんですが、終わった後、参加されたご父兄とお子さんとを図書室に案内して、できるだけたくさん本を借りて帰っていただくと思うんですけど、どうしても新しい本を見たいので

すけども、最近の絵本は非常に高い。1冊安くても1,200円、高いものは1,600円くらいです。そういう子どもたちの期待に応えたいということを特に強調しておりますのは、小学校、中学校は最近国からの予算配分もふんだんにありますので、図書館の充実ぶりは目を見張るものがありますけども、幼児に關しましては、非常に手薄になっていると思うんです。保育園にしても幼稚園にしてもなかなか十分な本がそろってないようですし、またところによっては貸し出しが十分にできてないところも漏れ聞いております。それともう一つは、最近の80歳のお年寄りも元気なんですね。例えば戦争体験のある方も浅田次郎の終わらざる夏を読破しますし、あるいは東野圭吾さんの本が大好きですよというおばあちゃんもいます。私もおじいさんですけどもっと上の先輩の方々が読まれます。ですから高齢者向けの図書を充実したい、やはり平均しまして1,680円、このあたりが平均相場です。ですからこれの購入も増やすとなれば予算がもう少し欲しいというところで、コミセンまで行けばいいと言いますが、小さなお子さんにしても、あるいは高齢者にしてもそこまで行くのがなかなか大変という方もたくさんいらっしゃいます。地域でこまめに対応できるような、充実した図書というのを設定してみたいと思いますので、ご配慮よろしく願いいたします。

【市長】 図書のことについてお話をさせていただきます。昨年度、清水公民館は充実することができましたので、そのことについては後で生涯学習政策課長から話させますけども、これは本当大事だと思います。さっきから少子高齢化と言っております。子どもの数が少ない状況、子どもの数が少ないと将来の日本を担う人の数が少ないということですから、不安を感じます。子どもをもっと産んでいただける、育てやすい環境にすることが大事。高齢の方に対する目配りも必要だし、子どもさんに対する目配りも必要。今、花園町の空間の使い方を変えようって地元の方と一緒に話しながら、今、花園町というと、複線の電車、2車線の道路、イチョウ並木で知られる緑地帯、副道、アーケード商店街、っていう40メートルの幅広い通りです。平和通と同じように戦災復興で計画的につくった道路なんであんなに広いんですね。車があんだけの車線必要かというのと、そんなにも必要ではないというデータも出ておりますので、これからは歩く人、自転車の人に配慮したまちづくりをすることが必要じゃないかってことで、そっちよりもより配慮するというようにしてまいります。例えばお母さんとお子さんが手つな

いでて、ぱっと手を放すこともあるじゃないですか。お子さんが自転車とぶつかって重大な事故になることもありますから、自転車が歩行者と混在するのはまずいだろうっていうことで、そういうのもあるんですね。子どもさんに配慮する、お年寄りに配慮するっていう観点もこれからのまちづくりでは大事。回り道しましたけども、本のことです。私自身も本が好きです。自分の子どもたちにもよく本読みました。500円くらいの安い絵本買ってきて、毎晩子どもたちに読んでました。熱入れて読むもんですから「お父さん怖い」とか言われながら、読んでましたけども、やっぱり本読むの大事だそうですね。教育も大事にしたいんですけども、高校になって難しい数学の問題解こうと思っても読解力がないと読んでいけませんから、読書の力は大事です。力を入れていきたいと思っております。移動図書館つばき号があるんですけども、松山市の東部、梅本とか平井のほうは図書館ないんです。お困りだったので、フジグラン重信とかサニーマート松山久米店とかジョープラとか大きいスーパーに移動図書館持って行って向こうの方に利用していただくっていうサービスをやり始めたところなんです。ですからできるだけ本を読んでいただくっていうのは同じ思いですので、限られた予算ではあるんですけども、できるだけそれはやっていきたいと思っております。

【生涯学習政策課長】 先ほどお話がありました清水公民館の図書の運営の方々ですけど、非常に熱心に活動されてると担当課から伺っております。去年は講師の方をお招きして、ほかの公民館のスタッフの方々とモデル的に図書室の改装を行ったり、利用者にとって快適に使えるような空間となったと伺っております。また高齢者とか小さいお子さん向けの書籍を充実させたいという声に応えるべく担当課でも予算の獲得に努力をしているところですが、松山市自身の予算も限られていますので、教育委員会に配分された図書の予算の中で、地域の方々が一人でも多く、1冊でも多く活用していただくことによって、地域の活動に合わせた予算の配分ということを担当課も申しております。ちなみに清水校区では22年度と23年度を比べましても、貸し出しの冊数も増えておりますので、今後24年度、25年度に向かって繁栄をさせていただくことになろうかと思っておりますので、その熱い思いは担当課に申し伝えたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

【市長】 私からあと一言だけ。公民館の本、お金の配分は、借りていただければ借りていただくほど配分されるような仕組みになっておりますので、これは借

りてもらおうほうがいいです。借りないでおると、ここあんまり利用されてないということで、本もあまり替わっていかないことになりますから、これは利用していただければ利用していただくほどその分お金が配分されるシステムになっていますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

【男性】 小学校の通学区のことですが、緑町は清水小学校と東雲小学校、両方行くわけで地域の行事をするときに大変困る、協力をしない。例えば地区の清掃、分館の清掃をするときも、東雲校区に行ってる人は協力しない。そういうことで非常に困っているマイナス面があるんですがそういう意見は聞かれないでしょうか。

【市長】 そうですね、なかなかこれお答えしづらい、協力体制が得られないという。はい、関連ということで。

【男性】 言われたように、清水と東雲小学校に行くわけです。特にマンションの関係で、例えば2, 3人東雲行きよると親御さんがそっちについて行ってしまふ。これが普通の行事になると、どうしても子どもさん同士が交流がないわけですね。それで親御さんもない、という関係で例えば祭りのときなんかは、子ども会が呼びかけてくるんですけど、日常の交流がないんですよ。そういう関係で私は東雲行きよりも清水から東雲に行きますと、それから運動会も東雲の運動会に行きますと、清水の運動会には来ないというような関係で、これを市は今清水校区、東雲校区、フリーな関係を何とか元に戻さんかなと。そうせんと、今言われたように子どもが少なくなった時代に子ども同士の交流がない。だから同じ清水に行きよる子は我々のほうにも「おはようございます」「ただいま」って言うんじゃないけど、東雲行きよる子は同じ校区におってもあいさつがない、親もない。ところが都合のいいときは参加してくる。そこで親と親との交流が多少はできるんじゃないけど、子どもの交流ができません。そのあたりを今校區別をフリーにしとるけども、そのあたりを何とかならんかなあと、元に戻せんかなあと、というような感じがあるんですがそのあたりをひとつ市のほうでどう考えとるかぜひ聞かせてほしいです。

【市長】 いやこれは難しい課題だと思います。でも大原則としてはつながりは非常に大事です。各地区でどうこう言わずに、本当に個人とか孤独が目立つ世の中になってきてしまいました。「こ（個、孤）」が目立つ世の中になってきてしま

ったんですけども、つながりのある、昭和の時代と申しましょうか、三丁目の夕日っていう映画がヒットして第1弾、第2弾が出たりしました。やっぱり心の中にみんな「昭和の世の中よかったな」みたいな気持ちがあるんじゃないかと思いますが、やっぱりつながりのある世の中をつくっていくことが、子育ても、介護のことだってそうだと思います。子どものしつけだってそうだと思います。昔は地区の人が「何しよんぞね」ってよその子ども怒ってくれましたけども、今「よその子怒ると怖い」みたいなことがございまして、やっぱりつながりがすごく大事だと思います。これは大原則、つながりが大事、大原則ですね。

【生涯学習政策課長】 先ほど市長から申しましたように、この通学区の問題に関しましては、非常にデリケートな部分もあろうかと思っております。今日この場で、私自身がいい答えも持ち合わせておりませんので、持ち帰らせていただきまして、通学区について担当課の考え等聞いた上でお答えをさせていただきたいと思っておりますので、ご理解賜りたいと思っております。

【市長】 これは清水に限らずあるんじゃないかなと思っておりますので、いいご意見、いいご指摘をいただいたということで持ち帰らせていただいて、また返答を必ずさせていただきます。

【男性】 先ほどごみのこと言いましたけど、学生よりも20歳代の独身の方のほうがごみは一緒に出す傾向があります。学生よりも多いと思います。私もちょっと見てみたんですが、住宅の管理会社をお願いして皆さん寄ってもろて、松山市でも、何社かしか大きなところないと思うんですよ、その方にお話したほうが早いと思います。学生さん、学校で話しても浸透はせんのかなかろかと思いません。それと先ほどの通学の問題なんですが、やはり私も平和通に住んどんですが、ずっと清水小学校とか勝山中学校とか小学生中学生、事故があつて集団の列にぶつかった「ああ、大変な事故になった」というのも頭にぱっと入りますよね。これはやはり歩道があれば少ないんですが、鉄砲町の駅から平和通の間は片一方側は歩道がない、片一方はものすごく広いんです。そしてどちら側が自転車にしろ、学生さんが通りよるにしろ、子どもさんが登校しよるときは別なんです、遊びに行くときでも見ていただいたらわかるように、歩道がないほうが通る率が高いわけなんです。あれだけ広い幅の歩道があれば、半分ずつくらいに分けて広げたらどうじゃろかという気がいたします。それと本町のフジの前のほうの歩道

に木が植わってますが、その木が枯れてなくなった後を木を囲う金具がそのままになっとなるんです、二つ三つ。これも放っておくんであれば撤去してはどうだろうか。それと平和通の自転車道は短いんですよね。南北にそこで待ったたら自転車道から段になっとなるですよ、歩道に上がるのに。あれをずっと工事される方に「1メートルくらいの間じゃなしに2メートルくらいかなんぼか下の段をないようにしたらどうですか」と言うたら、「それはできんです、決まりです」と言われましたけど、やはりそういうようなのも一つの優しさと、臨機応変にやっていただくということがいいんじゃないかならうかと思います。それと「平和通」は「り」がないのが平和通じゃなからうかと思います。それが「り」があるんですよね、標識には。これも歩いて見てみてください、2カ所くらい「り」があったかと思えます。以上です。

【市長】 皆さんの頭も整理しやすいように一つ一つ行こうと思います。ごみのことは確かにそう言われると学生さんも各地から来ますので松山ルールが分かっていない学生さんもいらっしゃると思うんで、まあ学生も大事だし、確かに若い方のマナーっていうのも確かに、その不動産会社さんっていうのも一つ観点かもしれないですね。いろんなパターンがあるかと思えますけど。

【環境政策課長】 今おっしゃられたように住宅の管理会社も、一つの大きな啓発する大事なところだと思いますので、普段分別にご苦労されている地区の町内会のことを考えますと、そういうありとあらゆる考えられるところに対して、啓発に努めていきたいと考えております。今の段階ではマンションの管理者とか不動産業者とか大家さんとかをしておりますけども、今おっしゃられたところも考えまして、範囲を広げていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

【市長】 そして木を切ったままのところあるという。あれ場所フジ本町店の右側あたり、消防の前。そうですね、これは。

【都市政策課長】 この通りは県道ですから一度場所を確認させていただいて、県のほうに伝えておきます。

【市長】 今日大体8時半くらいに終わりますので、その後現場直接伝えていただいたら。松山市は「これは市ですから、これは県ですから、これ国ですから」ということは言わない方針にしております。これは市が受けたとしたら「いやこ

れ県に言うてください、これ国に言うてください」ってちょっとなんか嫌な感じ
しませんか。それ受けといて「県に伝えます、国に伝えます」っていうのがそう
だと思いますので、これは県にお伝えをするという形を取らせていただきます。
めんどい市長だと思いますよ、結構市民の方に対してはにこにこしてますけど、
結構職員に対しては厳しいと言いますんで、にこにこだけではありません。あ
とそうですね、段のことについては、やっぱり経緯があるんじゃないですかね、
道路の段。

【都市政策課長】 ちょっと段のわかりにくかったんですけど、自転車道と歩道
とに段があるということですか。

【男性】 あれが信号で待っとるでしょ、南北。歩行者が待っとるから自転車が
右に行くでしょ。右行ったら段が。

【都市政策課長】 わかりました。現場さっそく確認させていただきます。

【市長】 これもまた現場を確認させていただきます。平和通は漢字でおさまる
のが正しいか、「り」がつくのが正しいかについては、これ答えられますか。

【都市政策課長】 平和通は松山市道ですので、また明日確認させていただきます。
す。

【市長】 標示、これもどっちが正しいかについてお答えができますね。以上で
全部だったですかね。

【男性】 高齢クラブの担当をしておりますけれど、ちょっと視点を変えましょ
う。青少年の健全育成は当然のことですけれど、その中で一つだけ絞ります。子
どもたちが自転車で歩道とか走ってますよね、いつも思うんだけど、2列になっ
て通ってみたり、それから携帯を話ながら通ってみたりありますよね。これは市
の教育委員会か県の教育委員会かはわかりませんが、やはりそういうところ
から各学校に行き指導してもらいたい。自転車の運転、これ高齢者の立場に立
ってみると非常に危険なんです。そういう意味からすると、先ほどごみについて
は各学校に行きお願いをしていると、そのとき自転車も一緒にお願いすれば1
回でいいでしょ、そういう話をしていただきたい。もちろん、小学校、中学校、
高校、大学まで行ってください。これ非常に危険です、だからこれをひとつぜひ、
お願いをしたいように思います。以上です。

【市長】 今年度から新たに「松山市こども自転車免許証」というのをスタート

させました。自転車多く乗り始めるのは小学校3年生からなので、「松山市こども自転車免許証」という制度をスタートさせました。まずは、テストを受けてもらいます、交通ルールの。それで、このテストに合格した子には青色のこども自転車免許証を発行します。そして運動場で実地の交通安全教室を受けてもらって「ちゃんとルール守ってもらえますね」ってしてくれた子には、ゴールドのシールを貼りまして、ゴールド免許証になるシステムになってます。子どもに楽しみながらマナーを守ってもらうことが大事ですので、こういう制度を新たにスタートしました、お金もあんまりかかりませんので。この免許証なんでかという、よく子ども交通安全教室とかで白バイとかに子どもたち乗ったり、仮の免許証もらったりして喜びますよね、これをやろうかなと思ってやりました。紙1枚だけだったら捨てられたりするんで、これをもってたら松山市の市有施設の割引を受けられますよとなったら、お父さんお母さんも捨てない、大事に持ってます。この免許証の裏には、5つくらい守ってほしい項目があるんですけど、やっぱり松山市内の自転車のマナー、ルールが悪いというのを、松山市役所が認識しているから始めた制度でございます。これについては、高校生がスピード出して角から出てくることありますよね、怖いですよ。先ほど申し上げたとおり、子どもがぶつかって重大事故なる例がありますので、これから自転車教育はより一層進めたいと思っております。これは高齢者も含めて皆さんにご協力お願いしなければならぬこととなりますので、これからも積極的にやっていこうと思っています。

【男性】 学校のほうに行ってくれるんですか、どうですか。

【都市政策課長】 今現在、総合交通課で小学校、自転車の安全な乗り方ということで行って教育をしております。ただ、中学校、高校、大学については今確認ができませんけど、一度持ち帰らせていただきまして、内部で検討させていただきます。

【生涯学習政策課長】 小学校、中学校に関しては松山市の教育委員会ですから、市教委から各学校長通じましてご家庭から各お子さんへの指導なり、子どもさんへの直接の指導、また、高校に関しましては県教委になりますけれど、地域でこういう声があるということ、市教委から県教委へ通知ができる手立てがあるかどうか、また大学への手立てについては今何とも申し上げられないんですけど、

そういう流れとして通知をすることが可能かどうか持ち帰りまして検討させていただきたいと思います。

【女性】 私も道路関係でお聞きしたいんですけど、勝中の東側の道路を何年か前には広げてくださるということを耳にしてみました。今大変なのは、両方から車も入ってきます、単車も行きます、大学生が通ります。私たちとても自転車では通れませんね、これは清水の一番難所じゃないかと思うんです。「よう事故がなかったな今まで」としきりに思います。今日は市長さんにぜひお願いして、お聞きしたいと思って質問したんですが、そういうところで、見てもらったらいと思うんですよ。それで体育館の手前はちょっと道路広いんですよ、空き地になって、ここまで広がるという話がありましたけど、そこまで広げてもらったら、だいぶいいんですよ。今はいつ事故が起きてもおかしくないです、今まで事故がないのが不思議なぐらいの道です。お昼でも、写真写しとこか、市役所持っていこうかと思うぐらい、そういう感じなんですよ。だからそこをなんとか考えていただきたらと思います。

【市長】 勝山中学校のすぐ東側の道路ですね。

【都市政策課長】 この後に現場確認させていただいて、お話を聞かせていただくようにしたいと思います。

【市長】 一般的な話ですけど、松山市としては、皆さんが道が狭いとなかなか車が通ると自転車が怖い思いをすとか、そういうところはできるのであれば広げたいと思っています。でも中には土地所有者の方がどうしてもここは持つておきたいんだという例もあったり、そうならないのは何か経緯があると思います、ですので、今回1回持ち帰らせていただいて、そういうご希望が地区からあるというのは。

【女性】 体育館を寄せたらというようなことをこないだ言よった。

【市長】 体育館を寄せる、そういう方法があるんじゃないかと。これも持ち帰らせていただいて、必ずご返答いたします。

【男性】 だれも住んでいない家がありまして、そこの敷地の植木がものすごく大きくなりまして塀を押し倒しそうになつとるんですね、枝も道をふさぐようになつとります。防災訓練をしたときに、消防署の方にも来ていただいて、次は本町団地、5階建てですんで、はしご車、高層用の避難訓練を1回やろうかとい

うことでお話したら、その木があって入らないということなんです。入らないということは、実際に災害が起きたときにも来れないということですよ。そのあたりを今後の災害に備えてお考えいただいたらうれしいなと思って、ちょうど通学路にもなっとなですよ、清水小学校への。通学のときに地震でも起こったら、塀でも倒れたら大事になると思ひまして。ひとつよろしくお願ひします。

【市長】 まず1点目は住んでない方の木が伸び放題になっている、これは何とかできんもんかということと、本町団地、狭い道ではしご車が来ないところは大丈夫かという問いに対してですけど、まず一つ目は。

【都市政策課長】 植木が道路上に出ている、これ、住んでいない住宅ということとまず、現場はまた確認させていただきます。その後、所有者を確認させていただいて、基本的には道路上に出ている木につきましては所有者責任で切ってもら形になってます。行政が勝手に切ることはできません。そういう中で所有者が例えばなかなか発見されない場合とかいう場合には、やはり地元の皆さんの協力が必要になってこようと思ひます。そういうときには地元の方と一緒にって撤去に取り組んでいきたいと思ひております。

【消防局企画官】 道路上に障害物があった場合は、災害発生時は緊急的に除去することができます。消防装備で、エンジンカッターとかチェーンソーとかで切断してはしご車が通る形にはできますが、山越六丁目の団地だけではなくて、4メートル道路確保してないところははしご車入りません。入ったとしてもアウトリガーというのを張り出してジャッキを下さないとはしご車は伸ばせませんので、そのスペースがないと、いくら道路が進入できてもはしご車架梯^{かてい}できない場所もあります。そういう調査は消防職員がすべてやっていますから、そういったはしご車が架梯できない対象物につきましては、消防設備の避難設備とか消火設備を強化して消火する方法、そしてタンク車とポンプ車が直近してはしご車が伸びる前に消火できる体制を取れる形で整えております。ですから1カ所だけはしご車が入らないからといって消防が火を消せないとか、人が助けられないとかいうようなことはございせん。本町団地はベランダにパーテーションがついてますから、自宅から出火した場合で玄関から出れない場合はベランダに出てパーテーション破壊して隣向いて逃げれば命は安全になっている、建築基準法とか消防設備で命の安全が確保できるような体制は整えているところですよ。

【女性】 2番に返らせていただきますが、中学生からの要望です。部活がないときや部活に入っていない子どもが、外で遊ぼうと思ってもサッカーはできないし、家でゲームをすとかしかないので、もし清水地区で大きな公園が1カ所でも2カ所でもあったら、バスケットのリングですよ、そしたら大きくボールを投げられることもないので、ぜひ設置してほしいということです。それともう一つ、清水地区ではないですけど、堀之内に夏休みとかに子どもたちが遊びに行きますよね、そのときに、県美術館のところには時計があるんですけど、木屋町のほうから入るところ、広いのに時計が一つもないんですよ。ですからそこに、夕方帰ろうかいうときに時計があったらとても便利だと思います。これを可能だったら設置してほしい。それと3番のテーマですけど、宮前川、清水公園から本町五丁目に流れる川ですけど、あそこ一度だけ木屋町のほうの店舗にも水が入りました、大雨のときはいつも心配するんですけど、その点を考えてほしい。以上です。

【市長】 まず、公園ですね。公園はちょっと悩ましいことがありまして、私も自分が子どものときは、今N T T山越ビルが建ってますけど、あそこが大きい空き地でしたから、ああいうところで遊ぶことができました。のびのびと野球なんかもできましたけれど、今、なかなかそうもいかない。公園でボール遊びもできたらさせてあげたいんですけど、逆に公園の周りの方からすると、うちにボールが飛んできて、勝手に子どもが入ってきて困るとか、瓦が割れるとかいうのもある。そういう中でルールを決めてるわけですけど、私が個人的に考えてるのは、子どもたちが遊びにくいルールになってるんだったらいかんなど、逆に公園にはおじいちゃんおばあちゃんも来られるので、できるだけ地元でルールを決めていただくような形にできれば、利用者が一番使いやすいルールにできればと思っています。これは皆さんのいろんな意見があるんで、調整というのは本当に難しいと思いますけど、そういったことができればと思っています。バスケットのリングについては、福音寺の跨線橋の下で、ちょっとスペースがあるのでバスケットリングをつけるようなことが最近あったんじゃないかな、それは一つのやり方としてありますので、これは持ち帰らせていただきたいと思います。堀之内の時計とハザードマップ、浸水のことになります、これはお任せします。

【市民部長】 浸水の問題ですけど、内水ハザードマップとあって、大雨が来たときに水があふれ出て浸水する箇所、松山市内にもたくさんあるんです。今ちょ

うどハザードマップの作成中です。想定できる箇所が、5月くらいには一定出るんですけど、それ集めてハザードマップをつくりますので、そのあたりができた段階で個別の、今のも持ち帰りさせていただきまして、それをもとに検討した結果をまたお知らせしたいと思っております。

【市長】 堀之内の時計のことについては。

【市民部長】 これにつきましては、きちんと担当課に伝えさせていただきますので、一番希望される箇所、具体的にありますか。昔の国立病院のあったあたり、産院跡あたりですか、わかりました。具体的な場所で、できるかどうかも含め検討させていただきます。

【市長】 私から、厳しい財政、厳しい予算ということをよく言うんですけど、松山市の財政についてここでお時間をいただいて説明をさせていただいたらと思います。何をするにしても、財政、予算というものが関わってきますので、ご説明をさせていただきます。中四国の中で松山市は比較的財政いいほうだと言われてますけれど、円グラフを書きます、松山市が1年間で出ていくお金で一番大きなウェイトを占めているのが、40パーセントを占める民生費というお金です。平たく言うといわゆる福祉のお金です。福祉にかかるお金が一番ようけいるんじゃないと思ってください。ざっと言いますが1年間で、松山市単体でこの民生費は50億円増えたんです。比較的財政の状態がいいと言われている松山市でも、1年間で民生費は50億円増えたんです。よく言われる生活保護費、これも大事なお金ではありますが、この生活保護費は1年間で松山市の場合20億円増えたんです。今、ものすごく生活保護費って言われます、これも大事なお金なんですけど20億円増えた。今、国においては1,000兆円の借金を抱えていると言われてます、1,000兆円です。1,000兆円割る1億人とする、一人どれだけ借金を抱えているのかというのがわかっていただけだと思います。中学校の勉強だったと思うんですけど、国から地方に国庫支出金とか地方交付税交付金という形でお金が回ってきますけれど、大元が1,000兆円という借金を抱えているのならば、地方にお金回ってこないですよ、これから膨らむことはちょっと考えにくい、1,000兆円に来るまでにだれかここまでに来るまでにブレーキをかけられなかったのかと思います。あきれるような大きな額です。例えば50億円増えたんだったら、松山市の財政は膨らむというのは考えにくいです

から、どこかで50億削らないとバランスがどんどんどんどん悪いほうになっていきますよね。生活保護費が20億円増えたんだったらどっかで20億円削らないと、どんどんどんどん坂道、下り坂になっていきます。こういうタウンミーティング、皆さんの声をいただいておりました「市長、これしてや、あれしてや」って皆さんから言われます。僕も人間ですからそれにこたえたいと思いますけれど、大きな予算が絡むものについては慎重にならざるを得ない、だからと言って何もしないわけではありません、今何をやらなければいけないのかという順番をつけてやります。例えば今、松山で大きなお金が要るのは松山外環状道路です。松山インターチェンジから空港まで、今30分かかります。全国の24の地区で空港とインターチェンジがどれだけ時間かかりますかっていうデータを取ったんです、24地区の中でインターチェンジと空港が30分以上かかる場所は、四つだけ。そのうちのひとつが松山、あとの三つが北海道、広い北海道と松山比べちゃいけません、ですから松山は時間かかりすぎてことが言えるんです。考えてみたら、松山インターチェンジから中に入ってきたら渋滞するのわかってるのに33号で朝生田行って、朝生田から環状線に来て新空港通に来て空港に向かう、わざわざ中に入ってこんでいいのに入ってきとる、だから外環状つくる、これは30分から10分に短縮できます。ただ短縮できるだけじゃなくて、大きい災害が起こった際には緊急の避難路、緊急の輸送路になる。市内の渋滞が減れば、CO2、排気ガスの削減にもなる、道路が渋滞しとったら子どもたちが自転車で飛び出す、バイクにぶつかることもあるでしょう、それも少なくなっていく、貨物の人からすると、時間通りに届けられないというのは死活問題だそうです、そういういい点がいくつもあるんで松山外環状道路なんかはつくる。何にもしないじゃなくて優先順位をつけてやっていくんです。皆さんから声を受けて、僕も人間ですからしたいと思います、市長の人気取りから考えたら「あれやりましょう、これもやりましょう」って言えたほうがいいのかももしれないけれど、でもそれは、よくよく考えると将来の子どもや孫にツケを残すことにほかならないんじゃないか、ここは慎重に考えていくということをさせていただいています。限られた予算というのはそういう意味ですので、ご理解をいただけたらと思います。何もしないというわけじゃございません、そのために皆さんの声を受けて何をすべきなのかという優先順位をつけてさせていただいておりますので、よろしくお願いま

す。これ言うと次の手が挙がりにくくなったりするんですけど、あんまり予算のことは気にしないで、言っていただいたほうがいいですから言ってください。

【女性】 山越に住んでおります、2、3あるんでごちゃごちゃして、私自身も考えがまとまってないんで、申し訳ないんですがお許してください。施設に入る手続きをするのにすごく大変な思いをしたという声を聞きました。若い人が代理で息子が行った、そしたら代理ということで委任状云々が大変な思いをしたといったこと受けました。私なんか一人でしないといけないから、大変ねと思った次第です。今後、簡素化できるようなことご配慮いただけたらと思います。次に、子どもさんとお年寄りとのかかわりについてですが、割と核家族が多ございます。元気なお年寄りが増えている時代でございますので、何かそういった接点ができる方法がないか、施策がないかって思っているんですが、これといった案はございません。大街道のほうで、サロン形式でかかわりを持ったこととしてくださるっていうのを聞いてものすごくうれしくなってるんですけども、年に1回だけ、夏休みだけ、子どもさんたちと地域のお年寄りで交流会というのは持っているんですけども、1回きりです。通常何かでできる方法がないかなって思っているところです。これといった案、方法、何もわかりません。以前に1週間ほど講習を受けたら子どもさんのお手伝いができるシステムがあるように聞いてるんですけど、そこまでしないといけないのかな、もっと気軽にできる方法はないかなと思ってるんですけど、何かそういった方法を考えていただけたらと思っております。児童クラブ3年生までは行けますけど、4年生になったらご自宅でご自分で遊んでねという形に今なってると思います。そういった子どもさんたちとお年寄りとの接点の、何か地域で支える方法はないか、大きな課題で即答もできかねると思いますので、今後においてそういったことご検討いただけたらなと思います。

【市長】 3点いただいておりますので、1点1点行きましようか、まず、施設に入るときの簡素化ができないかということ。

【社会福祉担当部長】 施設に入られるときの手続きの簡素化、まず、身分のことについては、私どもも委任された方に簡素な手続きでできるようにとは常々思っております。特に福祉に絡むことですので、簡素化をやっていきたいという思いはあります。ただ、行政の弱いところとして、初めから嘘をついてしようとする方には行政は非常に弱いです、そういった意味で来られた方の身分確認をさせ

ていただきながら適切な手続きを踏んでいきたいという思いがあって、手続きの中で委任状であるとか、自宅に送りますからとかいうお話があったんだろうと思いますが、そういった意味で非常に行政の弱い部分を、逆に皆様にご迷惑をかけない、違った方が違った名前でのいろいろな手続きをされて、後々皆様にご迷惑をかけないといったことも考えながらやっておりますので、簡素化については十分検討してまいりますので、そういったことをご理解いただきましたらと思います。

【市長】 二つ目の、お子さんとお年寄りの交流について大街道の話をしていただきましたので、これは私の公約事業でしたので、触れさせていただきます。少子高齢化、結びつきが大事と申し上げましたけど、今、退職されても皆さん元気ですから、そういった方に活躍してもらいたい、力貸してもらいたいと思っております。それでお子さんのお世話もしていただけたらと思っております。そういった中で「いきがい交流センターしみず」は素晴らしい施設です、平成14年にオープン、10年です。清水小学校の余裕のできた教室、空き教室を利用してるんですけど、あれは清水と姫山が分離しましたから、明らかに余裕教室ができる、そこを利用して子どもたちとおじいちゃんおばあちゃん、地域の方と交流ができる場、これぜひセンターを活かしていただきたい、素晴らしい施設ですから。後が続くことができればと思うんですけど、今、児童数を40とか35に減してるんで、余裕教室がなかなか生まれにくいところがありまして、次に続くところがなかなか出てこないところが残念なところなんですけど、ですので、四国初でできたセンターはすごく大事ですから、大事にしていきたい。そして大街道の「てくるん」、てくてく歩いてるんるん気分というので公募で「てくるん」というのをつくったんですけど、大街道の空き店舗にしておくよりは、あそこで保育ができたら、託児、お子さんを預かって、お父さんお母さんが買い物に出かけるとか、商店街に多目的トイレが欲しいという、障がいがある方の要望も受けてましたんで、複合施設つくりました、そういう思いであります。できるだけ市民の皆様にご迷惑をかけないという思いは常にありますので、今度7月に福祉のワンストップサービスというのを市役所の中で始めるんですけど、皆さんにできるだけお手間を取らせないようにと考えてやるのが福祉のワンストップサービス、これもやっていきたいと思っております。後、児童クラブ小学校4年生以降のことについて。

【社会福祉担当部長】 現在児童クラブについては3年生までの児童を対象にし

ているところが多いです。ただ、一部には4年生もお越しいただいている校区もあるんですが、これは児童クラブによって、余裕がある場合に、一部で4年生も入られているところもあります。ただ、児童クラブを設置する場所が、私ども考えているのが、できるだけ学校の施設あるいは学校の敷地内につくるのが子どもにとって一番安全という思いがあって今までそういった形で進めておりますので、今後そういった希望も含めて市全体で検討してまいりたいと思っておりますので、今すぐここでは回答はできませんが、研究してまいりたいと考えております。

【男性】 堀之内公園の利用について、確かに大きいイベントは素晴らしいですが、これは年何回かですね、日ごろ見たらほとんど使ってないと思います、皆さん見てもらったらわかると思います。あそこはなんかもっといい、例えば我々がグランドゴルフとか盛んなんですね、これする言うたら遠方にかんとできんです。あそこなんでこんなことできんのかと私も不思議に思って、利用できるようにしてもらったらどうか、それとなぜできないのかということですね、いつも思うんですが。それとこれは余分ですけど、よく年寄りが話すが、あそこになんでお年寄りのふれあいの家とかができんのかと、市内の年寄り皆郊外に郊外に行かんといけんです。なんであそこはあれだけ空いとるのに、ほかの利用価値があれば別ですけど、考えられないかと、よく似た質問ですが。

【市長】 時間迫ってきましたので、私が概要しゃべらせていただきます。堀之内の利用についてよく言われます。堀之内に以前、県民館があった、市営球場もあった、国立病院もあった、昔はあそこに賑わいがあったって言われるんですけども、やっぱり出て行ってるというのは経緯がありまして、あそこは松山城の史跡で、文化庁の範疇になるんです。例えば松山市営球場が何もありません、あまりにもさびしい。実は松山市営球場って最初は市民の方のボランティアでできたんです、内野スタンドとか土盛ったの市民なんですよ。そういったことも全く何も感じられないようになってたので、同じ場所にピッチャープレート、バッターボックス、ホームベース、そしてここに松山市営球場があったんですよというモニメントつくったんですけど、それつくだけでも文化庁と相当協議をしなければならなかった。あそこは国の史跡なので、文化庁としてはできるだけさわってほしくないという形です。それも一つの考え方ではないかなと思います。中には、サッカーのスタジアムあそこに欲しいという声もあります。あそこにスタジ

アムできたら、私もそれだけお客さんが来たら、大街道や銀天街で後食事してくれるかな、お酒飲んでくれるかな、地域経済が元気になるかなとも思いますけど、あそこにスタジアムをつくるということは非常に困難なことです。そういう経緯があるというのを皆様にはお知らせをしたいと思います。しかしながら、例えば日曜日見ますとあんな街中で風揚げできる場所がないですね、芝生の上で。あんな街中でゆっくりしている家族の姿を見るとそれはそれでまたよかったのかな、いざという緊急事態にはあそこ避難場所にもなる場所です、できるだけイベントもあそこで打っていきたいと思っています。にぎわいをつくりたい、イベントやコンサートの開催のできる空間のある公園です。そして市民の皆さんのご意見から犬の散歩、キャッチボール、バトミントンなどの軽スポーツはできるようになってます。10月は土日すべてイベントがありましたし、小中学校の遠足も多くなっています。いろんなご意見あるのは当然なんですけど、ああいう公園がいいという方もいるし、なんか建てたほうがいいじゃないかという方もいるんですけど、国の史跡ですから難しいところがあるんだということをお伝えをしたいと思います。あと、都市政策課長から詳細なところお伝え願えませんか。

【都市政策課長】 堀之内公園については、市長が今説明しましたように、大きく分けて広場がふれあい広場、やすらぎ広場、桜広場という形です。その中でふれあい広場につきましては犬の散歩とか軽スポーツとかできます。また、やすらぎ広場につきましては、犬の散歩や軽スポーツはできませんが、多彩なイベントの開催が可能です。ただ、イベントとか広場を大きく独占して利用する場合には、料金等もかかりますので、担当課が公園緑地課ですので、相談していただきたいと思います。

【市長】 木のことも、お城というのは城と石垣が見えるといいと思うんですけど、あの木も勝手に切ってはいけないことになってます。石垣周辺の樹木も国指定の文化財、愛媛県の天然記念物にも指定されております、伐採をしようと思ったら一定の規制がかかります。でも、石垣が保存できなかつたり、保護に悪影響があるものについては国と県と協議をして適切に処理をすることができるんですけども、木についても文化財ということを申し添えたいと思います。街中にあれだけの緑があるところはないと思いますので、適切にしていきたいという思いです。

【市長】 今日活発なご議論をありがとうございました。最初あんまり手が挙がらなかったのも、どうしようかなんて思ってたんですけど、結構質問の数はいただけたんじゃないかと思ってます。まだまだ話したい事柄あったんですけど、私ばかりしゃべってもいけませんので、最初に申し上げましたけれど、やはり、この清水地区は宝物がいっぱいあるところです。最初に話させていただいて皆さんに認識していただいたかなと思ってますけど、こんなに素敵なものがいっぱいあるところですからこれ大事にさせていただきたい。そして、何べんも言いましたけど、少子高齢、これからは限られた予算の中で、医療費、防げるものは防いでいければ、国においては1日3,000歩歩いたら2,700億円の医療費が削減できるというデータがございます。1日3,000歩というと2キロちょっとですけど、これは歩ける方は歩いていただきたい。健康な方向になりますので、できるだけ歩いて楽しいまちづくり、歩いて健康なまちづくりをして、医療費を適正なものにして、ほかで使えるお金に回していきたいと思ってますので、歩いて健康なまちづくり、そのためには、この大川の水、緑。水と緑があるまちは歩いても楽しいですから、そういういいまちが清水だと思います。今日もお話しましたように、行政だけではできることは限られるんです。民間の方と車の両輪のように、行政ももちろんタイヤを動かすけれども、民間の方も一緒にタイヤを動かしていただいたら、前向いてとても進みやすくなります。行政だけではやれることは限られますので、どうか皆様のお力添えをいただきながら進んで行けたらと思います。最後に、松山市には、いい組織がその地区にできたならば、権限と財源をお渡ししましょうというまちづくり協議会というのがあります、松山市41地区の中で今10地区このまちづくり協議会ができてまして、あと2地区が準備会ができて、後に続こうとしてますけど、こういうのもつくっていただいたら、よりまちづくりがしやすくなると思っております。ちょっと長くなりましたけれども、皆様の声をいただきながら、すぐ反映できるものはすぐに反映して、いい松山市政に活かしていきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしく願います。今日は長時間ありがとうございました。

— 了 —